

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** 京都市議員 です！

発行：2025年2月16日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



国民健康保険料平均10.35%提案 値上げ撤回を申し入れ



京都市は、来年度の国民健康保険料の大幅値上げを提案しました。国保基金を使い切り、京都府への納付金が増額しているなどの要因とともに、国が国保の都道府県化を進め、国庫負担率の必要な引き上げを行わない中で、自治体や被保険者負担が増え続けてきたことに最大の問題があります。値上げ幅は平均で10.35%の大幅値上げ提案です。今でも高すぎる保険料で、かつて副市長は「被保険者の負担は限界に達しつつある」と答弁しています。京都市財政は改善しているにもかかわらず、激変緩和として今後5年間かけて値上げを

する案も含まれています。一般会計からの繰り入れを増やし、保険料の引き上げは何としても回避すべきです。国も軍事費ではなく、削ってきた国保会計への国庫負担分を増額すべきです。国民皆保険制度を守るために、共産党市会議員団は上記の内容で市長に申し入れをしました。

京都市がくらし、福祉、生業を押しつぶす予算案発表。組み替えを！

京都市は来年度予算案として、予算規模は、一般会計9,575億円、特別会計6,496億円、公営企業会計2,651億円の合計1兆8,723億円というものです。第2子以降の保育料無償化や全市立学校体育館の空調設備を計画的に進める予算などが盛り込まれている一方で、国民健康保険料の大幅値上げや前市長による「行財政改革計画」の市民負担は見直されていません。また、子ども医療費の支援拡充も、給食費無償化の予算もありません。市財政は3年連続の黒字が続き、来年度も税収増の見込みです。敬老乗車用制度の負担増見直し

は途切れることなく多くの市民から声が上がり続けているだけでなく、民間を含めた公共交通機関の運営を圧迫しています。市民の暮らしの足を守るためにも、負担増の見直しをすべきです。

また、2027年度までの新京都戦略

(案)には、巨大開発と農地を壊す計画や半導体関連産業の振興や海外展開を目指す企業の支援などが目白押しです。しかし、いま、必要なのは、足元の地場産業や中小企業支援です。予算の組み換えが必要です。



京都市は2月3日の総務消防委員会、事業者からの提案を求めたサウンディング調査の結果を報告しました。19の事業者からの提案があったこと、現地見学は7事業者だったことが報告されましたが、事業者からどのような提案があったのかの詳しい内容については、企業秘密として公表されていません。提案の要旨として、石田小学校との一体活用で、商業施設や住居、緑地などの複合的な開発。コミュニティスペースの設置や避難所の確保。事業方式として売却、一部賃貸(30年、40年)とされています。一方、市民から公園の設置の提案が多く出されたことも明らかになりました。売却ではなく、市民の財産は市の責任で開発整備すべきです。



東部クリーニングセンターの跡地活用サウンディング調査結果

北陸新幹線計画の中止を！

日本共産党市会議員団は、2週に一回昼休み宣伝を行っています。今、大問題になっている北陸新幹線計画の中止を求め、署名活動と宣伝を行いました。地下水や発生土砂、環境汚染問題とともに5兆3千億円という膨大な税金の無駄使いはやめるべきです。共産党は北陸新幹線の延伸より、サンダーバードの拡充や地域交通の拡充にこそ税金を使うべきだと提案しています。

